

2021年度 社会福祉法人本巢市社会福祉協議会事業計画

[基本理念]

ふれあい、つながり、支え合う 安心とやさしさに包まれたまち もとす

[事業方針]

少子・高齢社会の一層の進展により、地域からの孤立を起因とする様々な生活課題が深刻化しており、地域全体で様々な課題解決が必要とされています。ちょっとした困りごとを支援する「くらしつなぎあい事業」や、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、休業や失業等を余儀なくされた方への精神面、金銭面、就労面での支援など、人と人が支え合い、住み慣れた地域で安心して生活できるよう体制づくりを目指していきます。

[重点計画]

1 生活困窮者自立支援事業

生活困窮者が困窮状態から早期脱却できるように、「自立相談支援事業」「家計改善支援事業」に加え、就労への支援を行う「就労準備支援事業」を行います。

2 食料支援事業の実施

現在支援を行っている生活困窮世帯の中で食料支援を必要としている世帯が多数あります。また子どもを抱えている世帯もあります。このような世帯への支援として「フードバンク」を実施し、必要な時に必要な分だけ、その場で支援できるしくみを作り、支援の幅を広げていきます。

3 介護保険事業及び障がい福祉事業におけるサービス体制の向上

要介護や要支援の高齢者の方々への介護サービス支援や障がい者に対する福祉サービス等について、利用者の信頼や評価が高められるようサービスの質の向上に努めていきます。また、これまで以上に利用者の「できる」「できた」「頑張る」を大切に、支援を行っていきます。

4 認知症地域支援・ケア向上事業の拡大

認知症についての普及啓発を行います。小中学生を中心に若い世代が認知症について関心を持つことで、家庭や地域での認知症の理解を深めます。「認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮せる地域づくり」を目標に事業を推進します。

5 健全な組織運営

高い公益性を有する社会福祉法人であるために組織のガバナンス強化と法令遵守の徹底を図りながら透明性の高い組織運営を行います。また、働き方改革として、「同一労働同一賃金」を実施し、働きやすい環境づくりを行います。

【一般福祉事業】

事業名	1 法人運営事業
事業形態	市補助事業
事業費	<p>【予算 40,465千円】</p> <p>会費収入 4,142千円 市補助金 33,250千円 車輛整備補助金 1,725千円 事業収入 56千円 助成金収入 31千円 その他の収入 1,261千円</p>
事業内容	<p>(1) 組織体制の充実</p> <p>①役員等による会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事会の開催（年3回～4回） ・評議員会の開催（年3回） ・監査会の開催（年2回） ・評議員選任解任委員会（年1回～2回） <p>②職員による会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務連絡調整会議（月1回） ・課長会議（月1回） ・各担当会議（随時） <p>(2) 財政基盤の強化</p> <p>①一般会費、賛助会費の加入促進を行います。</p> <p>②適正な予算執行及び経費の見直しや節約を行います</p> <p>③広告掲載料収入の増収を図ります。</p> <p>(3) 人材の育成</p> <p>①資格取得への支援を行います。</p> <p>②実習指導者研修を行い、後進の育成を行います。</p> <p>③災害時の対応に備え、訓練を実施します。</p> <p>(4) 働きやすい職場づくり</p> <p>①同一労働同一賃金に伴い、臨時職員等の給与規程等見直し、働きやすい職場を作ります。</p> <p>(5) 情報提供</p> <p>①広報なごみを発行（年4回）します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「見たい、読みたい広報なごみ」の作成を行います。 <p>②ホームページやフェイスブックを公開します。</p> <p>③YouTube を開設し、若い世代に情報発信を行い、共に事業を実施できる環境を作ります。</p> <p>(6) 被災者援護金の支給</p> <p>①火災により被災された方への援護金（見舞金）を支給します。</p>
事業名	2 地域福祉推進事業
事業形態	社協単独事業
事業費	<p>【予算 11,428千円】</p> <p>会費収入 6,062千円 県受託金収入 943千円 事業収入 463千円 助成金収入 300千円 貸付償還収入 1,060千円 その他 2,600千円</p>
事業内容	<p>(1) 福祉車輛貸出事業</p> <p>外出が困難な市民に対し、車輛の貸し出しを行うことにより、買い物や通院</p>

などの日常生活の便宜を図るとともに、行事の参加や行楽の機会を提供することを目的に実施します。 軽ワゴン車 4台 普通ワゴン車 1台

(2) 福祉用具貸出事業

車椅子や歩行器の福祉用具を貸し出します。

貸出用具・・・車椅子（自走式、介助式）・歩行器

(3) 高齢者ぬくもり訪問事業 **移行**（まごころ給食から移行）

75歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、安否確認等見守り訪問を実施します。 年5回実施

福祉協力校の児童・生徒が作成した「あったかメッセージカード」を訪問時に配布し、子ども達の想いを届けます。

(4) 福祉協力校への助成

①市内の幼稚園、小学校、中学校を福祉協力校に指定し、助成金を支給します。

②学校やPTAとの連携を図るため、担当教諭との連絡会を開催します。

③福祉体験教育として、デイサービスや就労支援センターでの体験活動に協力します。

④あったかメッセージカードの作成やオレンジリング啓発事業等、社会福祉協議会の事業に参加協力を促します。

(5) 高額療養費貸付事業

入院又は通院による高額療養費支給制度に該当する方に対し、経済的な支援と手続きを行います。

(6) ボランティアセンター事業

①くらしつなぎあい事業 **拡充**

高齢者や障がい者の日常生活上のちょっとした困りごとに対し、くらしつなぎあいサポーターが支援を行います。

②ボランティアの養成や登録団体を支援します。

③ボランティア活動の情報提供を行います。

(7) ボランティアスクール

小中学生を対象に、高齢者や障がい者に対する理解を深めるため、車椅子等福祉用具の操作体験や自助具の製作を行い、児童生徒の福祉の心を育む機会を作ります。

(8) 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

低所得者や高齢者、障がい者の生活を経済的に支えることを目的に、生活福祉資金貸付の相談や申請代行を行います。

(9) 日常生活自立支援事業（県社協受託事業）

高齢や障がいなどで金銭管理や各種手続き等日常生活に不安を生じる方に対し、生活支援員が支援を行います。

①利用者・・・真正3名 本巢5名

②生活支援員・・・6名

(10) 生活困窮者小口資金貸付事業

ライフラインの復旧や就労支援の際の費用を一時的に貸付し支援します。

事業名	3 共同募金配分事業
事業形態	県共同募金会配分金事業
事業費	【予算 7,991千円】 県共同募金会配分金 5,980千円 負担金収入 11千円 その他の収入 2,000千円
事業内容	<p>(1) ふれあいいきいきサロン事業 各自治会の公民館を利用し、高齢者の集いの場を提供します。 ふれあいいきいきサロン開催時には、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し実施します。 健康体操、レクリエーション、詐欺等の周知、災害の備えなどをDVDに録画し、サロン開催時活用できるよう配布します。 サロン：58サロン (真正：24サロン、糸貫：18サロン、本巣：12サロン、根尾：4サロン)</p> <p>(2) 広域サロンの開催 北部地域を対象に、自治会の枠を越えて誰でも参加できるいきいきサロンを開催します。 根尾地域2ヶ所で開催 ①松田公民館・・・年3回 ②能郷、長島での開催予定</p> <p>(3) 買い物支援事業 高齢者等で自動車等の運転ができないなど買い物の移動に不便を感じている方に対し、買い物支援サービスを実施します。 また、4自治会の運営ボランティア及び運転手が集まり、年1回情報交換を行い、より利用しやすい事業に努めます。 ①高砂町自治会・・・毎月第2、4金曜日 5名～7名利用 ②神明自治会・・・毎月第1、3木曜日 5名～7名利用 ③宝珠ハイツ自治会・・・毎月第2、4月曜日 5名～8名利用 ④仏生寺自治会・・・毎月第2火曜日 2名～3名利用 ⑤根尾 中自治会・・・新規実施予定</p> <p>(4) 男性のいきいきライフ教室 移行 (男性の料理教室から移行) 高齢男性が閉じこもりがちにならないよう、集いの場を提供し、各種の教室を通じて、男性同士の交流を深め、新たな知識や趣味、社会との繋がりを見つけることを目的に開催します。 ①スマホ教室 ②介護予防教室 ③体幹トレーニング ④DIY 教室</p> <p>(5) 災害救援ボランティア研修会 災害が発生した際に戦力となるボランティアを養成するため、市内の大学生や高校生(岐阜高専、岐阜第一高校、本巣松陽高校)に呼びかけをし、災害時のボランティア運営に備えます。 ①ボランティアセンター立ち上げ模擬訓練の実施</p>

	<p>(6) 食料支援事業（フードバンク）新規</p> <p>①フードバンクの立ち上げ 市民に食料提供依頼を行い、またコープぎふとの協定を結び、食料提供を依頼します。 提供された食品を、生活困窮で食料支援を必要としている人に、必要な時に必要な分だけ、その場で支給できるしくみづくりを行います。</p> <p>②子どもへの支援 食料支援を必要としている生活困窮世帯の子ども達に対し、クリスマスにプレゼントを配布し、キッチンカーでの食事の提供を行います。 食料支援世帯 30世帯（内 子どもを抱える世帯 10世帯）</p> <p>(7) あったか便利帳の作成 新規 2019 年度から地域包括支援センターで作成している「あったか便利帳」の内容を充実させ、すぐに役立つ便利帳として、ひとり暮らし高齢者や支援を必要としている人、民生委員・児童委員や地域福祉協力員、市内の居宅介護支援事業所等に配布します。</p> <p>(8) クリスマス会の開催 就労支援センター利用者の頑張りや日頃の様子などを保護者や民生委員・児童委員、ボランティア、各種団体、支援者に報告し、活動に対する理解と協力を周知するため、クリスマス会を開催します。</p> <p>(9) ボランティア活動推進事業 高齢者疑似体験セットを購入し、学校等に貸し出しを行います。 高齢者疑似体験セットを活用し、高齢者の身体機能の低下を体験し、介助の方法やその役割を理解します。</p> <p>(10) 共同募金運動 助け合いの精神と福祉への参加を呼びかけ、赤い羽根共同募金並びに歳末たすけあい募金運動を行います。 ①募金運動期間：10月1日から12月28日 ②戸別募金：10月1日から各自治会の協力により、戸別募金を実施します。 ③法人募金：法人企業を対象に、募金運動を実施します。 ④街頭募金：運動期間中にモレラ岐阜等にて街頭募金を実施します。</p>
事業名	4 退職手当給付事業
事業形態	社協単独事業
事業費	【予算額 49,284千円】 退職給付金引当金 30,892千円 事業区分からの収入 18,392千円
事業内容	職員の退職給付金として、積み立てを行い、退職者に給付します。 ①退職給付金引当金・・・退職者6名への退職金支給 ②事業区分からの収入・・・各事業、サービス区分から一括して退職金積立を行います。

事業名	5 本巢市在宅福祉事業
事業形態	市受託事業
事業費	【予算 42,476千円】市受託金収入42,473千円 負担金収入3千円
事業内容	<p>(1) ミニデイサービス事業</p> <p>真正老人福祉センター及び本巢老人福祉センターの入浴施設を市内在住の60歳以上の方を対象に無料で開放し、市民の憩いの場として提供します。</p> <p>新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、安全に利用してできるよう努めます。</p> <p>①真正老人福祉センター：毎週月曜日・木曜日 毎回20名程利用</p> <p>②本巢老人福祉センター：毎週火曜日・金曜日 毎回10名程利用</p> <p>(2) 障害者社会参加促進事業</p> <p>心身障がい者の交流会を開催し、心身に障がいのある方、各地域の就労支援センター及び事業所との交流を深めます。また、身体障害者福祉協会や民生委員・児童委員に協力を依頼します。</p> <p>(3) 生活困窮者自立支援事業 拡充</p> <p>生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを支援するため、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を行います。</p> <p>新たに、就労準備支援事業を受託し、就労に結び付けるよう支援を行っていきます。</p> <p>①自立相談支援・生活困窮状態から早期脱却できるよう相談支援を行います。</p> <p>②家計改善支援・生活費の状況を把握し、家計改善支援を行います。</p> <p>③就労準備支援・就労に向けて基礎能力の形成を支援します。</p> <p>支援プラン作成利用者・・・15名</p> <p>(4) 生活支援体制整備事業</p> <p>生活支援コーディネーターを配置し、地域の社会資源の情報を収集し、活用できる冊子を作成します。また、訪問型サービス等の不足しているサービスを提供するための体制整備に取り組みます。</p> <p>第2層協議体の充実に向け、他市町の活動等を情報収集し、協議体メンバーと情報を共有します。また、地域住民が地域の課題に自分たちで取り組めるような意識づくりに努めます。</p> <p>介護予防サポーター養成講座の運営協力と参加者のネットワークづくりに努めるとともに、修了者の活動状況及び課題の把握、活動できる場の充実に取り組みます。</p> <p>(5) 認知症総合支援事業</p> <p>①認知症初期集中支援推進事業</p> <p>認知症の人やその家族に早期に関わる認知症初期集中支援チーム員を配置し、認知症になっても本人の意思が尊重され、出来る限り住み慣れた地域で暮らし続けられるように、早期診断・早期対応に向けた相談支援を行います。</p> <p>②認知症地域支援・ケア向上</p> <p>認知症地域支援推進員を配置し、認知症の人やその家族に対し、状態に応じた適切なサービスが提供されるよう医療・介護の関係機関、地域において認知症の人を支援する関係者の連携を図ります。市民が認知症について必要な知識</p>

	<p>を学べるよう、認知症サポーター養成講座を積極的に開催します。</p> <p>また、認知症カフェなど認知症の人やその家族の方も参加できるつどいの場の設置運営、支援を行います。</p> <p>小中学生に対し、アルツハイマー月間を活用し、認知症について学習を行う「オレンジリング認知症啓発事業」を実施します。認知症について、それぞれの学校で学習し、オレンジリングを用いた発表を行います。</p>
事業名	6 介護予防・日常生活支援総合事業
事業形態	市受託事業
事業費	【予算額 17,947千円】市受託金
事業内容	<p>(1) 一般介護予防事業</p> <p>市内在住の概ね65歳以上の高齢者を対象に、各地域において転倒予防教室を開催します。介護予防サポーター養成講座を修了したサポーターが、ボランティアとして教室運営の協力を行います。</p> <p>開催日：各地域で毎月2回ずつ開催</p> <p>対象者：市内在住の65歳以上の方</p> <p>(2) 介護予防・生活支援サービス事業</p> <p>介護が必要になる可能性が高い方に対し、積極的に生活機能の向上を図っていただき、要介護状態にならないよう、介護予防教室を行います。</p> <p>キラリ元気アップ教室：各地域で毎週開催</p> <p>体操・理学療法・介護予防</p> <p>半年ごとに、体力測定・MMSEを実施</p> <p>介護予防サポーター養成講座を修了したサポーターが、ボランティアとして参加者の見守りを行います。</p> <p>(3) 見守り訪問活動</p> <p>市内の75歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、心身の状況や家族等の状況を把握し、定期的に見守り訪問をします。</p>
事業名	7 生きがい活動支援通所事業
事業形態	市受託事業
事業費	【予算額 8,922千円】市受託金
事業内容	<p>要支援になるおそれのある方や身体に障害があつて日常生活に支障がある方に対し、根尾デイサービスセンターで入浴や食事、レクリエーションのサービスを提供します。</p> <p>利用実人数・・・3名</p>
事業名	8 ふれあいホーム事業
事業形態	市受託事業
事業費	【予算額 1,802千円】市受託金
	<p>就労支援センターみつば、杉の子、ほたるの利用者が自立した生活を送れるよう、アパートでの共同生活を体験します。</p> <p>月に5回程度、利用者が交代で、2人ずつ利用します。支援者として援助員3名が、交代で一緒に宿泊をします。</p>

【公 的 福 祉 事 業】

事業名	1 介護保険事業
事業形態	社協単独事業
事業費	【予算額 120,903千円】 介護保険収入 112,949千円 市受託金収入 18千円 その他の収入 7,936千円
事業内容	<p>(1) 訪問介護事業</p> <p>介護保険の要介護、要支援認定を受けた方に対し、その能力を生かし、自立した生活が送れるようホームヘルパーが自宅を訪問し、入浴・排泄・食事介助等の身体介護、調理・洗濯・掃除等の生活介護を行います。</p> <p>①ヘルパーステーションもとす（ヘルパーねお含む）月平均利用者数 38名</p> <p>(2) 通所介護事業（※貫デイサービスセンター、根尾デイサービスセンター）</p> <p>デイサービスセンターにおいて、在宅の要介護者・要支援者が、その能力を最大限に引き出せるよう、ケアプラン、個別援助計画に則り、入浴、排泄、食事などの介護を行います。また、個別機能訓練、レクリエーションを通して、ひとり一人の「できる」「できた」「頑張る」を応援し、生き生きと暮らせるよう支援を行います。</p> <p>①※貫デイサービスセンター 定員15名 1日平均利用者数 13名 ②根尾デイサービスセンター 定員15名 1日平均利用者数 8名</p> <p>(3) 本巣市居宅介護支援センター</p> <p>①居宅サービス計画（ケアプラン）の作成</p> <p>介護保険の要介護認定を受けた方及びその家族の依頼を受けて、介護支援専門員（ケアマネージャー）が自宅を訪問し、その方の意向、心身の状況、生活環境等を勘案し、自立した日常生活を営むために必要なサービスが適切に利用できるよう、居宅サービス計画（ケアプラン）の作成を行います。また、利用者及び介護者がいつでも相談できるよう365日24時間体制で在宅生活を支えています。</p> <p>月平均利用者人数 196名 請求実人数 171名</p> <p>②介護予防プランの作成</p> <p>介護保険の要支援認定を受けた方に対して、地域包括支援センターからの委託により、介護予防プランの作成を行います。</p> <p>請求実人数 12名</p>
事業名	2 地域包括支援センター事業
事業形態	もとす広域連合受託事業
事業費	【予算額 60,573千円】 もとす広域受託金 47,481千円 介護保険収入 13,092千円
事業内容	<p>(1) 介護予防ケアマネジメント事業</p> <p>支援が必要と思われる人を把握し、その心身の状況にあった介護予防事業など包括的かつ効率的に実施されるよう必要な支援を行います。また、関係機関と協働して地域に出向き、介護予防の啓発活動を行います。</p>

	<p>(2) 総合相談支援事業</p> <p>高齢者やその家族などからの総合相談に対して必要な支援が受けられるように対応します。北部地域の住民が相談しやすいように、定期的に出向き相談を受ける体制を整備します。また、虐待などの緊急的な相談対応が必要な場合に備え、時間外対応の体制を整備します。</p> <p>地域包括ケアシステム構築のために関係機関の連携強化を図りながら、ネットワークを構築します。また、総合相談窓口としての啓発を継続的に行う為、出前講座を行います。</p> <p>(3) 権利擁護事業</p> <p>①高齢者虐待に関する相談には、関係機関と連携し支援します。</p> <p>②消費者被害の防止の為、関係機関と連携し、啓発を行います。</p> <p>③成年後見制度の利用が必要と思われる高齢者の親族等に対して、成年後見制度の説明や申し立てに当たっての関係機関の紹介等を行います。</p> <p>(4) 包括的・継続的ケアマネジメント事業</p> <p>個々の介護支援専門員へのサポートを行い、困難ケースなどは必要に応じて地域ケア会議等に繋げます。また、市内の介護支援専門員勉強会を定期的を開催し、事例検討や制度・施策に関する確認、情報交換等のネットワーク構築を図ります。</p> <p>多職種・多機関による地域ケア会議を定期的で開催し、地域課題の抽出、介護支援専門員の知識向上を図ります。</p> <p>(5) 指定介護予防支援事業</p> <p>要支援認定を受けられた方に対し、予防給付に関するケアマネジメントを行います。</p>
事業名	3 障がい福祉事業
事業形態	社協単独事業
事業費	<p>【予算額 61,205千円】</p> <p>就労支援事業収入 5,688千円</p> <p>自立支援給付費収入 49,993千円 その他の収入 5,524千円</p>
事業内容	<p>(1) 障がい者就労継続支援事業（B型）</p> <p>利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います。</p> <p>①本巣市障がい者就労支援センターみつば 利用者 12名</p> <p>②本巣市障がい者就労支援センター杉の子 利用者 8名</p> <p>③本巣市障がい者就労支援センターほたる 利用者 13名</p> <p>(2) 障がい者相談支援事業（障がい福祉サービス等の利用計画作成）</p> <p>サービス等の利用計画についての相談及び作成などの支援を行い、障がい者の自立した生活を支え、障がい者の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けてケアマネジメントにより、きめ細かく支援します。</p> <p>①相談支援計画作成 利用者 31名</p>

	<p>(3) 障害者居宅介護給付事業（障がい者ホームヘルプサービス）</p> <p>障がい者が居宅において日常生活を営むことができるよう、障がい者の家庭にホームヘルパーが訪問し、食事、身体の清潔の保持などの介助や日常生活を営むのに必要な便宜を供与し、障がい者の居宅での生活が続くよう支援を行います。利用人数 月6名</p>
--	---

【指 定 管 理 事 業】

事業名	1 指定管理事業
事業形態	市受託事業
事業費	<p>【予算額 83,552千円】</p> <p>市受託金 80,452千円 施設利用料収入811千円</p> <p>その他の収入2,289千円</p>
事業内容	<p>(1) 在宅介護支援センター事業（真正、糸貫、本巢、根尾）</p> <p>在宅で支援を必要とされている高齢者やその家族などに対し、ニーズに対応した各種の保健、福祉などのサービスが適切に受けられるよう、連絡・調整などを行い、高齢者やその家族が安心して暮せることを目的に相談に応じます。</p> <p>市内の75歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、心身の状況や家族等の状況を把握し、定期的に見守り訪問をします。</p> <p>(2) 根尾生活支援ハウス</p> <p>65歳以上のひとり暮らしの方及び夫婦世帯又は要介護認定において非該当、要支援となった方、又は居住環境及び家庭環境の変化等により、家族による援助を受けることが困難で、独立して生活することに不安のある方に対し、施設内での共同生活を送るとともに、生活援助員による援助を行います。</p> <p>①現在の利用者数 2名</p> <p>(3) 老人福祉センターの管理運営（真正、本巢老人福祉センター）</p> <p>老人の健康増進及び文化活動のための場を提供し、憩いと交流の場を提供します。</p> <p>①真正老人福祉センター 月曜日から土曜日開館（祝日を除く）</p> <p>②本巢老人福祉センター 月曜日から金曜日開館（祝日を除く）</p> <p>(4) 糸貫ぬくもりの里の管理運営</p> <p>市民の健康づくりと高齢者に対する在宅福祉の充実を図るとともに、市民の地域福祉活動及び文化活動を振興し、会議室やホールの貸出を行います。</p> <p>(5) 根尾高齢者生活福祉センターの管理運営</p> <p>根尾デイサービスセンター及び根尾生活支援ハウスが円滑に運営できるよう施設設備の管理を行います。</p> <p>(6) 障がい者就労支援センター（みつば、杉の子）の管理</p> <p>障がい者就労支援センターが円滑に運営できるよう施設整備の管理を行います。</p> <p>指定管理については、どの施設も新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、安心してご利用いただけるよう努めます。</p>